

# 出水期に備えましょう

6月から10月にかけては、集中豪雨や台風などで河川の氾濫や低い土地での浸水、土砂災害などが発生しやすい時期です。

いつ起こるかわからない災害に備えるため、いざというときは早めの防災行動をとりましょう。

問い合わせ 防災課 ☎23-3074

## ハザードマップの確認

「ハザードマップ」は、洪水・土砂災害などの自然災害が発生したとき、「どこが危険か」「どこに避難すべきか」を色分けしてまとめた地図です。

自宅周辺の浸水区域や土砂災害の危険箇所、避難所などを「**やすぎ市民防災マップ**」で確認しておきましょう。

## 避難先の検討

災害が発生するおそれがある場合、市は避難情報や開設する避難所をお知らせします。早めに避難して安全を確保しましょう。

浸水などにより避難が難しい状態になった場合は、自宅の2階以上に避難するなど、状況に応じて安全を確保してください。

また、災害が起こる前から、市が指定した避難所のほか、安全な場所にある親戚や知人宅への避難について話し合っておきましょう。避難所での密集を避けることにもつながります。

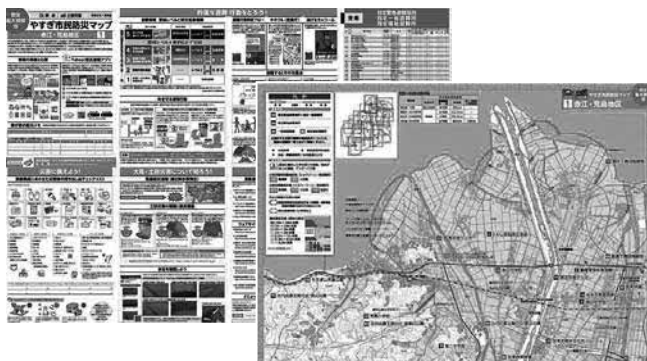
※指定避難所は「**やすぎ市民防災マップ**」や市ホームページで確認できます。

## 各種情報の入手方法

自らの命を守るため、常に台風や大雨などの気象情報を収集することが大切です。テレビやラジオから得る情報のほか、雨量や河川の水位情報などの入手方法を確認しておきましょう。

行政告知端末、市ホームページ、どじょっこテレビなどのほか、「**ヤフー防災速報**」(ダウンロード方法などの詳細は下2次元コード)では、市が配信する緊急情報を自動で受信します。

ヤフー防災情報▶



▲やすぎ市民防災マップ

「やすぎ市民防災マップ」は、広報やすぎ5月号とともに各戸配布しています。市ホームページ(右2次元コード)でも確認できます。



また、パソコンやスマートフォンなどを利用して、「いつ・どこでも **web ハザードマップ**」(下2次元コード)も閲覧できます。必ず「利用上の注意」を確認してください。



## 備蓄品などの準備

万が一災害が発生した場合に備えて、備蓄品(水や食料、生活用品など)を確認しておいてください。いざというときに、すぐに避難できるよう、非常持ち出し品を準備しておきましょう。

※必要なものは人それぞれです。自分にあったものを用意しておきましょう。

### 備蓄品(例)

水、食料(レトルト食品・缶詰・乾パン等)、トイレットペーパーなど

### 非常持ち出し品(例)

飲料水、食料、貴重品、救急用品、懐中電灯、携帯ラジオ、衣類、メガネ、服用中の薬、携帯電話の充電器など

## もしも自宅が被害を受けたときは…

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。

市から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに必要となることがあります。